

沖縄観光インフラカード

○観光客を含め一般の方に、観光に貢献するインフラについて、広く容易に理解してもらうため、インフラ施設を対象とした「沖縄観光インフラカード」を発行。

○沖縄観光インフラカードは、収集を楽しみながら観光とインフラの関係を理解することができるとともに、観光の満足度向上や誘客につながることを期待される。

○カードは、各インフラ施設の配付窓口において一人一枚の手渡しにより配付。

○各インフラ施設において統一したデザインと仕様で作成。

カードの特徴



(1) 斬新なデザインのシンボルマーク



このシンボルマークは、「沖縄県の県章」を象った【目】と沖縄観光を満喫する「ツーリスト」の姿を現した【人】で構成した【見(観)】という漢字が造形的モチーフになっています。新たな「観光」の可能性を展望するものであると同時に、それを支える【足】の部分が、新たな観光スポットとして注目される「イン

フラ」および観光を支える「インフラ」を象徴しています。「沖縄観光インフラカード」は、各インフラ施設において統一したデザインと仕様で作成し、デザイン及びシンボルマークは、観光に訪れる観光客の観点より、東京学芸大学の吉富准教授、正木准教授と学生のチームに依頼しました。

(2) セピア調のアンティーク感を持った写真

旅の思い出として、時間の観念を入れ、思い出風にセピア調にしている。また、セピア調にすることにより、格調高く仕上がっています。

(3) 背景の色は施設のシリーズがわかるように区分

ダムツーリズムはオレンジ、道の駅は青、公園は赤、開通記念は緑と施設のシリーズ毎に色を区分しました。

カードの優位性

- ・写真や図によるわかりやすい表現
- ・小さな紙面に簡潔な内容
- ・集める楽しみの付加(コレクション)
- ・作成が安価(約20円/枚)
- ・作成の容易性(規格品の用紙に印刷)
- ・対象世代が広い
- ・ゲーム性の要素を有する

実績、話題性

- ・カードは、プロ野球カードや、仮面ライダーカード、ポケットモンスターカードなど国民的な流行の実績あり
- ・流行とともに話題性が大きい
- ・ダムカードでの実績、マニアが存在

SNSやホルダーの活用

- ・QRコードにより動画等を配信、SNSとの組み合わせが可能となり、パフォーマンスの充実
(例: 配信する施設の情報を更新することが可能)
- ・カードホルダーの導入により、ネットワークやストーリーが作成できる
(コレクションの性格が明確化)

観光カードとの相乗効果

- 民間による観光施設や宿泊施設で、基本的な規格やデザインを合わせた、姉妹カード「沖縄観光カード(仮称)」の発行(予定)により、観光PR効果、誘客効果などの相乗効果も見込まれる
 - ・観光のネットワークを形成
 - ・コレクションの形成が容易
(コンパクトなエリアに対象施設が集積)
 - ・集める中で観光に貢献するインフラを実感